



栗 山



学 校 だ よ り
学校運営協議会だより

校訓：誠実・自律・調和

令和7年12月17日

第12月号



八王子市立浅川中学校

「自己評価力」が主体性を引き出す

～新たな年、自分自身を見つめ、自分を伸ばす目標を設定する～

校長 市場 陽一郎

師走、中学校の季節感では三者面談が終わると一気に年の瀬です。保護者、地域の皆様から今年も本校の教育活動にご理解とご支援をいただきましたことに感謝申し上げます。

今年はオリンピック・パラリンピックと並ぶ世界がつながる平和の祭典である EXPO 大阪・関西万博が開催され、成功裏に閉幕しました。1937 年、戦争の足音が忍び寄る第二次世界大戦直前のパリ万国博覧会に、ある絵画が展覧されました。それはスペインの画家パブロ・ピカソが描いた『ゲルニカ』です。スペインの内乱に介入し爆撃を行ったナチスドイツに抗議するそのモノトーンの巨大な絵は、今なお反戦を訴える思いを世界の人々に発信しています。

本校の生徒たちの教科書にも載っているピカソの『ゲルニカ』ですが、美術の教師である私は、40 年前から授業の中で『ゲルニカ』を取り上げ、共同制作として模刻したレリーフ作品を学校に残してきました。私は「ゲルニカを味わう」(NHK エンタープライズ制作)というビデオ教材を長く使ってきました。この秋、偶然にも八王子市内の美術科教員研修会で、そのビデオを共同開発された中村一哉先生(多摩美術大学校友会代表理事、元東京都中学校長会長)と久しぶりにお会いでき「ゲルニカを味わう」の話をしながら当時を思い出していました。

その美術科教員研修会で中村先生がお話になった「生徒の主体性を引き出すために」は非常に興味深いものでした。これまで本校が取り組んできた様々なことを整理し、更に進めていくためのヒントがあったからです。まず主体性と自主性の違いについての話がありました。自主性は決まっていることを自ら進んで行うことで、主体性は何を選択するのかを自分で決めて自分で取り組む姿勢のことであると話されました。そして、自分で考え行動する主体性は「自己評価力」の向上から引き出されるというお話でした。本校の生徒たちの学びに照らし合わせてみても、自己の課題を把握し自分を正しく評価し、自分で選択、決断し取り組んでいる生徒が伸びていく傾向にあります。では、この主体性を引き出すための前向きな「自己評価力」をどのようにして高めていけばよいのでしょうか。やはり生徒個々の自己肯定感を高めることが必要であり、小さなことからでも自信を持たせる働きかけが大切であると考えます。生徒たちには自分の強みも弱みも理解し、課題解決の方法を考え、前に進もうと努力する姿勢を大事にさせたいと思っています。

新年を迎える冬休みは、自己評価に基づく新たな目標を設定する良い機会となります。お正月のご家庭での団欒の中でも、子どもたちと新たな年への抱負、目標などをお話していただければと思います。世界情勢も未だ不安定なままではありますが、平和を願う思いは世界共通であると思います。来年こそ、浅川の子どもの安心安全な生活は勿論ですが、世界中の人々にとってもピカソが『ゲルニカ』に託した平和への願いが叶うことを祈り、新年を迎えたいと思います。

どうぞ皆様も良い年をお迎えください。来年もよろしくお願いいたします。



教科書の『ゲルニカ』を観る3年





まなびの杜あさかわ 《 浅川中学校運営協議会の広報ページ 》

第9回 学校運営協議会報告 日時：令和7年12月11日（木）19：00～ 被服室

1. 会長あいさつ

今年最期の学校運営協議会です。12月1日に生徒会役員との懇談会を行いました。毎年、役員さんはしっかりしているのですが、今年の役員さんは、社会性があり、特にしっかりしていると思いました。様々な要望があり、改めて校舎の中を案内してもらいながら説明を受け、良い機会になりました。このような機会を持っている学校はほとんどないと思います。また、12月8日に学校運営協議会の研修会があり、不登校のことについて議題となりました。

2. 各部会（中学校）

- ①評価部 ・12月のアンケート実施中です。11月27日に地域アンケートを発送。前回の反省として、休んでいる生徒にもアンケートの提出を声掛けしました。
- ②支援部 ・ボランティアさんへの年賀状デザインを美術部へ依頼しました。デザインの採用について検討。
・ボランティア活動としては家庭科の授業支援、花壇の水やりなどを行いました。
- ③総務部 ・部活紹介リーフレット作成中です。各顧問の先生にチェックをしてもらっています。気になる点があれば、お知らせ下さい。
・生徒会役員との懇談会（12/1実施）体育館にある冷蔵庫が壊れてしまったので、生徒会からPTAに要望書を書いてもらうように話しました。要望書が届いたら、是非、ご検討下さい。
・あいさつ運動 1/9(金)7時40分浅中集合
- ④漢検担当 ・結果が出ましたが、残念ながら合格率が50%を切っています。漢検から無料でもらえる教材があるので、せっかくなので試験一週間前くらいに配布し、意識を高めていければと思います。
- ⑤英検担当 ・第2回英検2次試験結果がでています。皆さん、頑張っていたと思います。
- ⑥事務局 ・学校便りを12月17日（水）に発行します。

3. 学校の様子など

①学校長より

市内でインフルエンザが流行していて、今年は例年より流行が早く、1年生のみ期末試験の日程を変更しました。2年生の職場体験も重なり、大変でした。昨日、三者面談が終わりました。3年生は進路決定。保護者との情報共有、教員間での情報共有。2年生は目標設定を、1年生は学習の習慣づけが必要と感じた。80周年記念式典について。校長会での調整の結果、当初の予定通り10月30日に式典を行えることとなりました。

②生活指導主任より

不審者対応の避難訓練を抜き打ちで行いました。訓練だと思わずに動揺してしまった生徒もいたが、概ね、きちんと対応できていました。今後も適宜、抜き打ちで行って、実際に起きた時に適切に対応していけるようにしたいと思います。

③各学年より

1年生：福嶋先生

先日、家庭科の調理実習で現在の3年生が菌打ちをしたシイタケを使った豚汁を作りました。現在の1年生が菌打ちをしたシイタケは2年後の1年生が食べることになります。1月の都内巡りに向けて、事前準備中です。教員が一方的に決まりを作るのではなく、実行委員を中心に出てきた要望を話し合い、民主的に決めています。コース作りにAIを使っているのも、時代だな、と思います。広く情報を集められるので効率的ではありますが、ただ広く浅いだけにならないよう、それを深めていかなければと思います。QU（学校満足度調査）が返却され、「自分のクラスは仲が良いと思う」と回答した率が全国平均より高かったです。ただ、不登校の子も出始めているので、教室に戻っていきえるよう対応していきたいと思っています。

2年生：越後谷先生

職場体験が無事に終わりました。全くトラブルがなかったわけではありませんが、全体的には良く取り組んだといえます。各事業所では、生徒を受け入れるにあたり事業所側でも学ぶことが多くあったようで、生徒たちはとても良く活動してくれたとの意見が多く見られました。福島移動教室から始まり、音楽祭、職場体験と大変忙しい2学期でしたが、生徒たちはこの中で多くのことを学びました。職場体験の時期は期末考査と重なり、かつインフルエンザの猛威との戦いでもありましたが、そこを乗り越えて、いよいよ2学期の終わりに向かっています。三者面談も大方終わりましたが、進路のことを考えていかななくてはいけない時期になってきています。残りの期間は、進路への意識向上や、最近学年で課題になってきている相互理解について改めて生徒たちの意識を確認して高めていきたいと思っています。今年も様々な点でご支援ありがとうございました。引き続き、来年もよろしくお願いいたします。

3年生：小山内先生

3年は三者面談を終え、いよいよ本格的に受験勉強にむかっていきます。面接練習も始まり、それぞれが自分の進路に向けて進み始めました。不安から落ち着かない生徒も見受けられますが、ほとんどの生徒はしっかり勉強しています。全教職員で3年生全員が進路選択をできるように見守っていきます。

4. 議題 その他

- ・会長より 12月8日（日）の学校運営協議会の研修会の報告：講義のなかで、「令和型不登校」として、これまでは家庭やいじめなど原因があったが、「行きたくない」「画一的な生活に対して適応できない」などのパターンが多くなっているという話がありました。今は保護者も無理に学校へ行かせず、理解した上で学校に行かないということがあります。不登校からの登校復帰についても話がありましたが、不登校→再登校→不登校という流れのなかで、さらに再登校を促す際には心理的な負担を考え、気を付けていかなければならないことがわかりました。また、給食センターで給食を食べる活動から再登校につながったケースもあるようです。
- ・校長より 本校の別室登校について：今までは、いつ来てもOKでしたが、人数の増加に伴って様々な問題が出てきましたので、ある程度のルールを決めて、教室への登校につながるようにしていきたいと思っています。

・次回の学校運営協議会 1月15日（木）19：00 被服室

生徒会朝礼

11月14日(金)、生徒会朝礼が行われました。1年学級委員は、あいさつウィークの影響で挨拶をするレベルが上がってきていますが、まだできていないので、継続して実施するという話がありました。図書委員は、図書室から見える紅葉の美しさについての話があり、図書室利用の呼びかけをしました。保健委員はハンカチのチェックをする運動について話しました。いつチェックをするかわからないのでしっかり携行することを呼びかけました。整美委員は、ハンカチを携行して、手洗い後にしっかり手を拭いて、床を汚さないようにするよう、おなじみの寸劇を交えて、呼びかけました。各委員会の連携を感じる朝礼でした。



二学期の期末考査



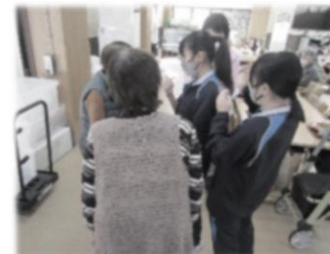
11月19日(水)～21日(金)、二学期の期末考査が行われました。インフルエンザの流行の影響で、1年生に学級閉鎖があったため、1年生のみ1週間延期し、11月26日(水)～28日(金)に実施となりました。この期間は学年ごとで授業とテストを平行して実施することとなりましたが、各学年、落ち着いて取り組むことができ、3年生にとっては大切なテストで、最後までしっかりとやり切りました。

2年生の職場体験学習が終了

2年生は、11月26日(水)から28日(金)にかけて、2年生は市内のさまざまな事業所で職場体験を行いました。飲食店や保育園、介護施設など、それぞれの現場で実際の仕事に取り組みました。言葉遣いや挨拶に気をつけたり、自ら学ぶ姿勢を大切にしたり、健康管理をしっかりする等の留意事項を確認して、体験に向かいました。

体験が始まると、生徒たちは慣れない環境の中で、今まで培ってきた力を発揮しながらそれぞれの事業所で良く頑張っており、3日間を過ごしました。お客様への対応や、道具の扱い方など、学校では学べないことを体験し、「働くことの大変さ」と「やりがい」を肌で感じたようです。今回の経験が、これからの学びや進路選択に生かされることを願っています。

お忙しい中、本校の職場体験を受け入れていただいた各事業所の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



浅川地区防災訓練に生徒会が参加

11月30日(日)、浅川地区総合防災訓練が東浅川小学校で行われました。浅川中学校からは、生徒会の役員5名が参加しました。AEDを使用した本格的な救命救急の救護訓練を体験したり、浅川地区の災害をテーマにした興味深い防災講座を聞いたり、各ブースを周り、防災に関する理解を深めました。地域の方々と交流し、震災時での地域のつながりの大切さを感じることができた体験となりました。

生徒会役員と学校運営協議会の懇談会

12月1日（月）、学校運営協議会と生徒会の懇談会が行われました。佐藤会長からは、学校運営協議会についての説明を聞かせていただきました。ごみ箱のことや、トイレのこと、水道のことなど施設に関する相談が挙げられました。生徒会から学校施設設備で困っている点などについて、解決策を話し合いました。懇談会の後には、実際に施設内の問題のある場所を確認しました。実りのある懇談会となりました。



地震による火災を想定した避難訓練



12月2日（火）、地震による影響での調理室からの火災を想定した避難訓練を実施しました。避難指示が出された後、私語をせず、落ち着いて避難できている人が多く、避難場所（校庭）では、集って整然と指示を待つことができました。このような姿勢が定着しているところは、浅川中学校の良いところです。いざという時に自分の命を守るための行動ができるよう、日頃から防災意識を高めて行きます。

陸上部がマラソン大会に参加

12月6日（土）、「第2回浅川地区子どもマラソン大会」に陸上部の生徒が出場しました。当日は冬の冷たい空気の中に、子どもたちの表情には、やる気があふれていました。一人ひとりが最後まであきらめず、力いっぱい走り抜け、ゴール後には、達成感に満ちた笑顔が見られました。それぞれが大きな成長を感じられる一日となりました。当日は、温かい声援やサポートをしてくださった保護者の皆様、応援してくださった地域の皆様に心より感謝申し上げます。



不審者対応避難訓練を実施



12月11日（木）、「不審者対応避難訓練」を行いました。校内に不審者が侵入したという想定のもと、緊急時の対応力を高めることを目的としています。訓練では、あらかじめ周知していた合図で放送が流れると、生徒はすぐに理解し、静かに教室で待機するなどの行動を取りました。今回の訓練を通して、日頃からの心構えの重要性を改めて感じました。今後も本校では、様々な状況を想定した訓練を継続し、安心・安全な学校づくりに努めてまいります。

浅中産シイタケで調理実習

12月9日（火）、11日（木）、1年生の家庭科の調理実習では浅川中学校の学校林栗山で育てているシイタケを使って豚汁を作りました。1年生の授業では毎年、栗山学習の一環として、シイタケの菌打ちを行っています。立派に育つまでには2年必要と言われています。今回、調理実習で使ったシイタケは、3年生が、原木に植え付けた菌から育ったものとなります。今回の活動を通して、食べ物が生産されるまでの過程や、育てる楽しさ・食べる喜びを改めて感じるようになりました。



感謝状



令和7年度中学生「税の作文」および、令和7年度八王子間税会主催第9回「税の標語」において、浅川中学校のこれまでの実績に対して、感謝状が送られました。

表彰

- 令和7年度八王子間税会主催第9回「税の標語」八王子市議会議長賞 一美華蓮（1年）
- 令和7年度中学生の「税の作文」 公益社団法人八王子法人会長賞 本井咲希（3年）
- 令和7年度全国中学生人権作文コンテスト東京都大会 奨励賞 山本彩生（2年）（12月3日 市長表敬訪問）
- 令和7年度中学生「税の作文」感謝状 浅川中学校
- 令和7年度八王子間税会主催第9回「税の標語」感謝状 浅川中学校